

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	ゆりかご保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成27年11月25日

総 評	<p>ゆりかご保育園は、昭和49年に0～2歳児を対象とした乳児保育園として開園されました。長岡京市の人口増加に伴い平成3年産明け保育、平成10年一時保育事業と延長保育事業を平成16年より休日保育事業、平成24年11月新園舎を竣工して、平成25年4月より受入年齢を0歳児～5歳児までに拡大し、定員を105名に変更し現在に至っています。</p> <p>阪急長岡天神駅に近く交通の便に恵まれ、園周辺は閑静な住宅地と成っています。長岡天満宮や公園など開放的な場所が近くにあり、子どもたちは手を取り合ってよく散歩に出かけています。遊びを通じて異年齢の交流にも力を入れています。保育内容としては、5つの育み（心育・食育・歩育・体育・エコ育）を取り入れており、子どもたちに豊かな経験を提供しています。また、子育て支援にも力を入れています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児の新園舎は開放的な大きな窓がありとても明るく陽光が入りやすい造りになっており、乳児がゆったりと一日を過ごせるように配慮されています。 ・ 旬の食材を使った給食や行事食、絵本を題材にした物語給食の提供など、子どもたちが食事を楽しめるように工夫されています。 ・ ゆりかご保育園独自のマニュアルが辞書のように、持ち運びしやすい大きさに、常に確認しやすいように作成されています。 ・ 永年勤務している職員には、その職員の特性を活かせるように仕事の役割が明確にされた働きやすい環境となっています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具の点検や部屋の危険物チェック等定期的に職員間での確認を行い、事故防止に努められるとなお良いでしょう。また、不審者侵入時の対応マニュアルを整備し職員研修や訓練も実施されると良いでしょう。 ・ クラス懇談、個人面談、ケース会議などの活動をされていますが書類の整備が今ひとつ十分でないため、職員間の共通理解を図るためにも見やすく整理をされるとなお良いでしょう。 ・ 乳児が新園舎、幼児が旧園舎と別れたかたちになっており、職員間でも乳児担当と幼児担当といった意識があり、職員間や保護者から不公平感が起きないように全職員で再度、新旧園舎の有効利用について検討されると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	ゆりかご保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成27年11月25日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	B
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・法人の理念及び保育の理念や基本方針、保育目標が明文化され、園のパンフレットやホームページに記載されています。それらは、職員会議の冒頭で毎回唱和をし、理念や基本方針等の周知を図っています。保護者への周知として園のパンフレットやホームページ上で行われていますが、園の掲示板や保育室などにも掲示されるとなお良いでしょう。

・保育課程は保育理念・保育方針・保育目標に基づき、保護者の意向や子どもの発達状況、地域の実態を踏まえて園全体で組織的に編成されています。

・長期・短期指導計画と保育課程との整合性は図られています。指導計画は定期的に評価・反省を行い、次の計画に行かせるよう職員間でその内容が共有されると良いでしょう。

・管理者として、自らの役割と責任を明文化し、職員や保護者に理解と浸透を図られると良いでしょう。

・管理者は積極的に研修等に参加し、法令等の遵守に努めています。また、保育サービスの向上に向けて、職員にも施設内外の研修機会を設けています。保育現場にも足を運び職員から意見を聞き、業務の効率化と改善に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	B	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B	

【自由記述欄】

・管理者は、毎月、顧問税理士から経営状況について報告、助言、指導を受けるなどして事業経営の環境の把握に努めています。また、府の人材育成認証制度講習を受講し、人材確保や育成にも努めています。

・年一回非常勤職員を中心に個別面談を実施し就労継続に向けての個別面談を実施されています。今後は、常勤職員に対しても年一回以上の個別面談を実施されるとよいでしょう。

・職員の福利厚生の充実を図るため、アニバーサリー休暇やインフルエンザ予防接種の補助等をされています。今後は、職員の困り事や悩み事の相談窓口は園長であることを職員会議で周知されると良いでしょう。

・職員の教育・研修については、施設内外での研修は実施されています。今後は、研修の基本姿勢を明文化し、研修計画の評価・見直しをされると良いでしょう。

・研修に参加後は報告書やレポートを作成し研修結果を伝達しています。今後は、職員一人一人に対して経験年数等に応じた個別の研修計画を策定するとともに統一した書式を整備し、評価・見直しを行い、次の研修計画に反映されるよう取り組むと良いでしょう。

・実習生受け入れに関するマニュアルが整備され、実習指導者に対する研修も実施しています。実習生育成についても、養成校と連携し実習プログラムを整備しています。

・住宅地にある園として、地域の掲示板やホームページ等で園行事の内容を発信しています。また、月二回園庭開放や育児相談を実施しています。

・現在はボランティア受け入れがないとのことですが、受け入れ窓口を設けボランティア受け入れがスムーズに実施出来るようにされると良いでしょう。

・長岡京市子ども福祉課の保健師と子どもの発達について連絡を取りあっています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	C	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

【自由記述欄】

- ・個人情報保護規程があり運用されていますが、職員会議等で再度マニュアルについての研修を実施されると良いでしょう。
- ・利用者からの意見等に迅速に対応出来るよう早急にマニュアル整備を行うと良いでしょう。
- ・苦情解決担当者名を玄関口に掲示し、苦情等を受け付けしやすいよう工夫されるとより良いでしょう。
- ・第三者評価は初回受診（平成19年度）から今回受診まで間隔が空いていますが、評価結果を事業内容の改善に活かせるよう定期的な受診をされると良いでしょう。
- ・保育士個人の定期的な評価は行われていますので、園全体として職員間に共通する課題について検討出来るようにされると良いでしょう。
- ・入園面接・健康診断など定められた手順に従って説明が行われています。園児の身体状況の把握は看護師を中心に行われています。記録の保管・管理について、管理責任者を明確にし管理規程を整備されるとなお良いでしょう。
- ・月一回以上ケース会議が実施され子どもの状況についての情報を職員全体で共有しています。
- ・サービス提供の開始に当たり、園のパンフレットやホームページにより、保育内容について周知し園見学も積極的に対応しています。
- ・保育の継続性に配慮されていますが、相談方法や相談担当者について文書化されると良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	B
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかがかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

・健康管理等に関するマニュアルがあり、各保育室には保護者が子どもの登園時の健康状態を記入する記録簿が設置され、担任がいつでも確認できるように周知しています。

・健康の記録は看護師により管理され、健康診断や歯科健診の結果については保護者へ「健康の記録」で周知を図り、職員にはその結果を伝達することにより情報を共有して、保育に反映しています。

・感染症発症対応マニュアルがあり発生状況を保護者・職員にメール配信し情報を共有しています。

・旬の食材や四季折々の行事食の提供、異年齢保育での5歳児が3・4歳児の世話をするなど食事を楽しむ工夫をしています。

・栄養士が各クラスに行き食事の様子や子どもたちや職員とコミュニケーションを図り、旬の食材等を使った献立を作成し調理の工夫に活かしています。献立表の文字を大きく見やすくし、レシピも掲示されると良いでしょう。

・アレルギー疾患を持つ子に対しては、専門医の指示のもと栄養士と保育士が連携し安全に除去食を提供出来るように配慮しています。

・子どもたちが、安全に衛生的な環境で生活出来るように配慮され、害虫駆除や砂場の消毒等を定期的実施しています。住宅地に隣接しており「音」に対しての配慮をしていますが、近隣に配慮しつつも、楽器遊びが楽しめる環境作りを工夫されると良いでしょう。

・乳児保育園からの移行で乳児中心の固定遊具を使っていますが、幼児に対する遊具を整備されるとな良いでしょう。

・地域との交流をねらいにした園外保育を行っています。

・3・4・5歳児は異年齢で日々生活・活動を共にしています。

・幼児と乳児の保育室は棟違いであり、乳児の新園舎は開放的な大きな窓がありとても明るく陽光が入りやすい造りになっています。各保育室に生活感あるものを置くなどの細やかな配慮をされるとな良いでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・個別面談やクラス懇談会の内容については記録し、職員間で共有されるとなおります。
- ・職員会議等で話された子どもの記録について、ケア記録として整理・見直しをされるとなおります。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B

[自由記述欄]

- ・給食調理は委託されていますが、感染症が流行している間の衛生管理は委託先任せではなく、全職員が対応できる様に対応方法を共有し、感染予防の対応に努められるとなおります。
- ・園舎入口には不審者の侵入を防げるよう施錠されています。遊具の点検や部屋の危険物チェック等定期的に職員間での確認を行い、事故防止に努められるとなおります。